

令和7年度 八重山商工高等学校（定時制）  
学校評価アンケート結果概要

令和8年3月17日

1. アンケート回答人数（休学除く）

生徒（50名）	保護者(50)	教職員(16名)	学校関係者
42名	21名	16名	6名

2. アンケート実施時期

令和8年1月13日（火）～2月6日（金）

3. アンケート項目

生徒は、＜生徒活動 教育活動全般 家庭状況＞の評価項目群に22項目。保護者は、＜生徒活動 教育活動全般 家庭状況＞の評価項目群に22項目。教職員は、＜教育目標 学校運営 教科指導 健康安全 進路指導 生徒指導 教育相談・中途退学対策 危機管理 家庭・地域との連携 特別活動 働き方改革＞の評価項目群に30項目を設定。

4. 統計処理の方法について

アンケートの配点を「そう思う→4点」「やや思う→3点」「あまり思わない→2点」「そう思わない→1点」として数値化を行い、平均点を算出。

5. 評価結果の状況

(1) 全体的概要

○アンケート回収率は、生徒 84(86)%、保護者 41.2(32)%、教職員 100(100)%である。

○3者アンケートの全項目の評価平均値は全校生徒 3.2(3.1)、全保護者 3.2(3.1)、教職員 3.6(3.5)となっており、三者は昨年度をそれぞれ上回った。

○生徒アンケートでは、昨年度と比べ全体的に肯定的な回答が増えており、交通安全やキャリア教育等の諸教育課題の取り組みが全体を底上げしている。評価点が最も低いのは「将来の夢・目標」と「部活動」であり、早期進路希望の決定に向けた粘り強い取り組みが必要である。部活動については、加入率及び部活動数も年々減少傾向であり、囲碁・将棋や演劇など生徒のニーズに対応した新たな分野にも挑戦していきたい。その中で、今年も全国大会に陸上と卓球が出場し、それぞれ昨年を上回る結果を残している。他の評価平均3以下として、授業理解や地域・連携は、昨年度と変化がない状況である。また、No10「給食」は、アルバイト従事者の増加も影響があると考えられる。

○保護者アンケートでは、全体的に肯定的な回答を得ている。生徒活動では、生徒同様に進路目標の評価が低い、一方、子供の悩みについて不安要素が改善している。教育活動では、相談体制や安全教育、学習指導等で昨年より高い評価を得ており、保護者の教育活動への参加数も増加している。家庭生活に関しては、今年度メール機能を活用した情報発信（スクリレ）の導入により高い評価を得ている。

○職員アンケートでは、全ての項目で肯定的な回答が大半を占めている。不登校・中途退学は定時制特有の課題であり、自治体や関係機関、保護者連携を通して粘り強く就学継続に取り組む必要がある。また、年々、自立活動受講希望者が増えており、HR や授業等の教育活動全般において、ユニバーサルデザイン化を図る必要がある。

全体的な成果として、卒業生の進路決定率が 100%であること、メール機能を利用した情報発信により、保護者の理解・協力を得ることができた。また、検定試験受験者数及び合格者数が昨年引き続き大幅に増加している。課題として、1つは、学校 HP やパンフレットを活用した適宜情報発信の必要がある。2つは、1人1台端末を活用した授業の工夫改善に引き続き取り組む必要がある。また、薬物乱用防止や SNS による誹謗中傷や闇バイト等の教育課題には、生徒・保護者アンケートから高い評価を得ているが今後も継続して取り組む必要がある。

昨年度からの追加項目である働き方改革の推進状況については、職員の意識も向上し、概ね良好な状況である。

○学校関係者アンケートでは、保護者アンケート及び生徒アンケートにおける学校に対する肯定的な評価を教育目標及び学校運営における成果として好評を得た。課題としては、中途退学及び不登校対策の充実に向け、様々な支援団体と連携強化を図る必要がある。学校への取り組みに関する意見交換では、インクルーシブ教育の充実が生徒の学力向上に成果があること、資格取得に向けた受験者数及び合格者数の増加に尽力していること、卒業式における生徒のこれまでの努力に激励を頂いた。要望としては、自動販売機の設置に向けて検討してほしいとの意見が上がった。



令和7年度沖縄県立八重山商工高等（定時制）（自己/学校関係者）

評価（4段階）：【4 そう思う 3 まあそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない】

項目	具体的方策	自己	関係者	◎成果	▲課題・◆改善点	助言等
教育目標	① 教育目標は生徒や保護者にわかりやすく示している。	4	3.7	◎学校行事及び PTA 事業への保護者の参加者の増加	▲学校パンフレット作成 ◆入学生徒数増に伴う選択科目（美術）の導入	
	② 職員は教育目標を意識して日々、教育実践に取り組んでいる。	4	3.8			
学校運営	③ 定時制の特色を生かした学校運営がなされている。	4	4	◎夏季集中授業実施	▲定時制に対応した校務支援システムの活用	
	④ 生徒の個性を大切にしたインクルーシブ教育が推進されている。	4	4	◎自立活動に関する校内研修(全職員による自立活動への参加)	◆複数担任制を導入した組織編成	
	⑤ 教室やトイレ等の教育環境が整備されている。	4	4	◎関係機関との連携	◆学校 HP の適宜更新	
	⑥ 学校行事等の教育活動及び緊急なお知らせを HP やメール機能で適宜発信している。	4	3.8		◆スクリレの導入	
	⑦ 業務見直しや事務の円滑化による業務改善が図られている。	3	3.3			
教科指導	⑧ 基礎学力の定着と個に応じた指導を行っている。	4	4	◎自立活動を軸とした教科指導の展開、	▲1人1台端末による授業展開	
	⑨ ICT 機器・視聴覚機器の活用等、魅力ある授業を展開している。	3	3.5	単位保留者数の減少	◆技能資格を生かした対応科目の検討	
	⑩ 各種検定・資格取得への意欲を引き出し、学習及び進路に対する意識を啓発する。	4	3.8	◎検定受講者の増加		
健康安全	⑪ 性・エイズ・薬物乱用防止等の健康指導に努めている。	4	4	◎BBQ（全学年）の参加率の増加	▲健康安全に関わる課題（薬物・SNS）の深刻化	
	⑫ 給食の喫食率を上げるための工夫や取り組みがなされている。	3	3			
進路指導	⑬ 奨学金及び進学就職に関する最新情報を適宜、生徒や保護者へ提供している。	4	3.8	◎進路決定率 100%	▲進路希望早期決定に向けた支援取り組み強化	
	⑭ 自己実現に向けた計画的、継続的、系統的な進路指導がなされている。	4	3.8	◎関係機関連携による職場体験・キャリア形成セミナーの実施	◆キャリアサポートの有効活用	
生徒指導	⑮ 交通安全指導を通し、交通事故の防止に努めている。	4	4	◎自転車に関わる交通法改正の講話実施	▲スリッパ登校・スマホ指導の継続指導	
	⑯ 勤怠及びスマホのマナー指導等を保護者・関係機関と連携し改善に取り組んでいる。	3	3.7			

項目	具体的方策	自己	関係者	◎成果	▲課題・◆改善点	助言等
教育 相談	⑰ 「いじめ」の未然防止・早期発見・対応に向けた体制及び組織的な対応が図られている。	4	3.8	◎就学継続支援員面談(全生徒)	▲SNS 誹謗中傷の対応改善 ◆学校いじめ防止対策方針の更新	
	⑱ 不登校・中途退学・問題行動等の予防や対策につながる組織的な取り組みを行っている。	3	3.3	◎石垣市連携による不登校生徒の対応	◆SC の適宜面談調整	
危機 管理	⑲ 災害等に対する防災訓練、定期的な施設・整備の点検を行っている。	4	4	◎津波・火災避難訓練の実施(2回)	▲大雨警報への対応検討 ◆危機管理マニュアルの更新	
	⑳ 個人情報の管理及び公簿は所定の場所に適切に整理・保管されている。	4	3.8	◎隔月の安全点検 ◎服務研修(4回)		
	㉑ 法令遵守、服務規律の確保に向け、コンプライアンス研修を実施している。	4	3.8			
家庭地域 連携	㉒ 保護者に私費会計及び教育活動内容を適切に説明し、適宜、情報発信に努めている。	4	3.8	◎学校取扱金検討委員会による予算検討	▲地域人材による平和講話やワークショップの検討 ◆特別会計規程の改正	
	㉓ 家庭や地域と連携した人権・平和教育の充実に努めている。	3	3.7	◎PTA評議員会(2回)		
特別 活動	㉔ 生徒会活動、部活動、学校行事等で学校活性化に取り組んでいる。	4	3.8	◎全国大会出場(陸上・卓球)	▲部活動加入率の減少 ▲UD 化の推進に向けた取り組みの強化	
	㉕ HR・授業等の教育活動全般において UD(ユニバーサルデザイン)化の推進に努めている。	3	3.3	◎定時制リーダー研修会へ3名派遣		
3軸・6視点 働き方改革	㉖ 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。	4	4	◎月80時間以上の超過在校時間勤務者数の改善(月45時間以上1名)	◆ストレスチェック回答率の改善 ◆働き方改革に関する進捗状況アンケートの全項目改善	
	㉗ 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。	3	3.7			
	㉘ 一人一人の生徒との信頼関係を深めることができています。	4	3.8			
	㉙ より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実しています。	3	3.3	◎人権尊重をテーマにオンデマンド研修の実施		
	㉚ 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	3	3.5			

# 令和7年度「学校評価」(職員自己評価)

回答数 16名

そう思う(4点)
  まあそう思う(3点)
  あまり思わない(2点)
  そう思わない(1点)

		0%	50%	100%	R7	R6
教育目標	1 教育目標は生徒や保護者にわかりやすく示している。	10	6		3.6	3.5
	2 職員は教育目標を意識して日々、教育実践に取り組んでいる。	12	4		3.8	3.5
学校運営	3 定時制の特色を生かした学校運営がなされている。	13	3		3.8	3.9
	4 生徒の個性を大切にしたいインクルーシブ教育が推進されている。	12	4		3.8	3.7
	5 教室やトイレ等の教育環境が整備されている。	11	5		3.7	3.5
	6 学校行事等の教育活動及び緊急なお知らせをHPやメール機能で適宜発信している。	9	7		3.6	3.3
	7 業務見直しや事務の円滑化による業務改善が図られている。	6	8	1	3.2	3.3
教科指導	8 基礎学力の定着と個に応じた指導を行っている。	11	4	1	3.6	3.7
	9 ICT機器・視聴覚機器の活用等、魅力ある授業が展開されている。	7	7	2	3.3	3.0
	10 各種検定・資格取得への意欲を引き出し、学習及び進路に対する意識を啓発する。	9	7		3.6	3.9
健康安全	11 性・エイズ・薬物乱用防止等の健康指導に努めている。	13	3		3.8	3.9
	12 給食の喫食率を上げるための工夫や取り組みがなされている。	7	7	2	3.3	3.6
進路指導	13 奨学金及び進学就職に関する最新情報を適宜、生徒や保護者へ提供している。	13	3		3.8	3.3
	14 自己実現に向けた計画的、継続的、系統的な進路指導がなされている。	11	5		3.7	3.3
生徒指導	15 交通安全指導を通し、交通事故の防止に努めている。	9	7		3.6	3.5
	16 勤怠及びスマホのマナー指導等を保護者・関係機関と連携し改善に取り組んでいる。	6	7	3	3.2	2.9
中途退学 教育相談	17 「いじめ」の未然防止・早期発見・対応に向けた体制及び組織的な対応が図られている。	12	4		3.8	3.6
	18 不登校・中途退学・問題行動等の予防や対策につながる組織的な取り組みを行っている。	8	7	1	3.4	3.5
危機管理体制	19 災害等に対する防災訓練、定期的な施設・整備の点検を行っている。	11	5		3.7	3.7
	20 個人情報の管理及び公簿は所定の場所に適切に整理・保管されている。	10	6		3.6	3.5
	21 法令遵守、服務規律の確保に向け、コンプライアンス研修を実施している。	12	4		3.8	3.9
家庭連携地域	22 保護者に私費会計及び教育活動内容を適切に説明し、適宜、情報発信に努めている。	9	7		3.6	3.5
	23 家庭や地域と連携した人権・平和教育の充実に努めている。	8	7	1	3.4	3.3
特別活動	24 生徒会活動、部活動、学校行事等で学校活性化に取り組んでいる。	10	6		3.6	3.9
	25 HR・授業等の教育活動全般においてUD(ユニバーサルデザイン)化の推進に努めている。	8	7	1	3.4	3.4
働き方改革	26 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。	8	8		3.5	3.4
	27 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。	6	9	1	3.3	3.1
	28 一人一人の生徒との信頼関係を深めることができています。	9	7		3.6	3.5
	29 より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実しています。	4	12		3.3	3.0
	30 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	7	8	1	3.3	3.2
平均					3.6	3.5